

シンポジウム

犯罪被害者の むく地域でも 支援をが

～あらためて自治体による支援を考える～

被害者の多岐にわたるニーズに応える
には、都道府県・市町村を含めたさまざ
まな機関による「途切れない支援」が
重要です。多くのみなさまと考える機
会にしたいと思います。

日時

2025 (令和7) 年

10月**24**日(金)

午後1時30分～4時30分

場所

東京エレクトロンホール宮城
601大会議室 (6階)
(仙台市青葉区国分町 3-3-7)

※ZOOM ウェビナー・YouTube による
オンライン同時配信あります。申込方法
は裏面をごらんください。

※後日録画配信あります。

事前申込み制

定員 **100** 名 (会場参加)

プログラム

被害者の声

パネルディスカッション

犯罪被害者遺族

～あらためて自治体による支援を考える～

参加費
無料!!

主 催：被害者が創る条例研究会 (犯罪被害に遭った方々を地域で支える仕組みづくりを提案しています)
後 援：宮城県、宮城県警察
公益社団法人 みやぎ被害者支援センター、仙台弁護士会
日本弁護士連合会、全国被害者支援ネットワーク
犯罪被害者団体ネットワークハートバンド

問合せ先：被害者が創る条例研究会事務局 info@higaijourei.org

プログラム

【第1部】

被害者の声

市川 武範

犯罪被害者遺族（殺人事件で長女・次男を亡くす）

【第2部】

パネルディスカッション ～あらためて自治体による支援を考える～

◆コーディネーター

尾崎 万帆子

白梅学園大学 准教授（被害者学）

◆パネリスト

渡邊 理香

犯罪被害者遺族（交通事件で長女を亡くす）
交通事故遺族の会「こまくさの集い」代表

高橋 和希

仙台市 市民局市民生活課 市民生活係長
（犯罪被害者等支援総合相談窓口）

片桐 薫

盛岡市 市民部くらしの安全課 課長
（犯罪被害者等総合支援窓口）

中鉢 哲聡

宮城県警察本部 警務部警務課 犯罪被害者支援室 課長補佐

小野 千賀子

公益社団法人 みやぎ被害者支援センター 専任相談員

中谷 敬明

公益社団法人 いわて被害者支援センター 理事長
公認心理師・臨床心理士

伊藤 佑紀

日本弁護士連合会 犯罪被害者支援委員会 委員
仙台弁護士会 犯罪被害者支援特別委員会 委員

閉会

※終了後、会場付近で交流会を予定しています。

●申込方法

Map

QRコードで

右記 QR コードからお申込みください。
申込受付後、参加方法をメールでお知らせします。



ホームページから

被害者が創る条例研究会 .com からお申込みください。
申込受付後、参加方法をメールでお知らせします。

メールで

info@higaijourei.org へお名前、ご所属、ご連絡先
（メールアドレス等）をお知らせください。

申込締切日

参加のお申し込みは、**10月17日（金）頃まで**

東京エレクトロンホール宮城

仙台市青葉区国分町 3-3-7
仙台駅から地下鉄南北線
勾当台公園駅下車徒歩 4 分



問合せ先：被害者が創る条例研究会 **被害者が創る条例研究会 .com**
info@higaijourei.org

[本プログラムは、2025年度預保納付金支援事業の助成を受け実施しています]